

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 5 月 12 日 (2016.5.12)

【公開番号】特開 2016-40380 (P2016-40380A)

【公開日】平成 28 年 3 月 24 日 (2016.3.24)

【年通号数】公開・登録公報 2016-018

【出願番号】特願 2015-224679 (P2015-224679)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

C 0 9 K 3/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/18 1 0 1

C 0 9 K 3/00 1 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 25 日 (2016.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

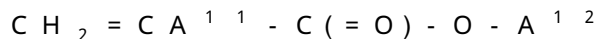
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(1) (a) 式：



[式中、 A^{11} は、水素原子またはメチル基であり、

A^{12} は、炭素数 18 ~ 30 の直鎖または分岐の脂肪族炭化水素基である。]

で示される長鎖（メタ）アクリレートエステル単量体から誘導された繰り返し単位を有する非フッ素重合体、

(2) ノニオン性界面活性剤およびカチオン性界面活性剤の両方を含み、ノニオン性界面活性剤およびカチオン性界面活性剤の合計量に対し、カチオン性界面活性剤の量が 22 重量% 以上である界面活性剤、ならびに

(3) 水を含む液状媒体

を含む水系エマルジョンである表面処理剤であって、

表面処理剤が含フッ素重合体を含有しない表面処理剤。

【請求項 2】

非フッ素重合体 (1) が、環状炭化水素基を有する (メタ) アクリレート単量体を含まない請求項 1 に記載の表面処理剤。

【請求項 3】

ノニオン性界面活性剤が、エーテル、エステル、エステルエーテル、アルカノールアミド、多価アルコールおよびアミノオキシドからなる群から選択された少なくとも 1 種を含み、

カチオン性界面活性剤が、アミン、アミン塩、4 級アンモニウム塩、イミダゾリンおよびイミダゾリニウム塩からなる群から選択された少なくとも 1 種である請求項 1 または 2 に記載の表面処理剤。

【請求項 4】

ノニオン性界面活性剤が、オキシアルキレン基を有する化合物であるエーテルに加えて、

i) アルコールと脂肪酸のエステル、

ii) アルコールと脂肪酸のエステルに、アルキレンオキシド（特にエチレンオキシド）を付加した化合物であるエステルエーテル

iii) アルカノールアミド

iv) 多価アルコール、および

v) アミンオキシド

からなる群から選択された少なくとも１種の化合物を含有する請求項１～３のいずれかに記載の表面処理剤。

【請求項５】

ノニオン性界面活性剤が、ポリオキシエチレン基を有する化合物であるエーテルに加えて、

i) アルコールと脂肪酸のエステル

を含有する請求項１～４のいずれかに記載の表面処理剤。

【請求項６】

カチオン性界面活性剤の量が 2.5 重量％以上である請求項１～５のいずれかに記載の表面処理剤。

【請求項７】

撥水撥油剤または防汚剤である請求項１～６のいずれかに記載の表面処理剤。

【請求項８】

請求項１～７のいずれかに記載の表面処理剤で繊維製品を処理することからなる、繊維製品を処理する方法。

【請求項９】

請求項１～７のいずれかに記載の表面処理剤を繊維製品に適用することを含む、処理された繊維製品の製造方法。